



人類はひとつ 世界中に友情の
橋をかけよう

MANKIND IS ONE- Build Bridges of Friendship
Throughout the World



会長 中江 亮 幹事 佐藤元伸 副会長・クラブ奉仕 川村徳男 職業奉仕 嶺岸光吉 社会奉仕 山口篤之助 国際奉仕 黒谷正夫 青少年奉仕 津田晋

出席報告：会員74名 出席60名 出席率81.08% 前回出席率79.73% 修正出席68名 確定出席率91.89%

特集 テーマ 少年非行問題への提言

パネルディスカッション 少年非行を私達はかく考える

~~~~~ 意見 発表 ~~~~~

### ★Aテーブル

発表者 佐藤元伸君

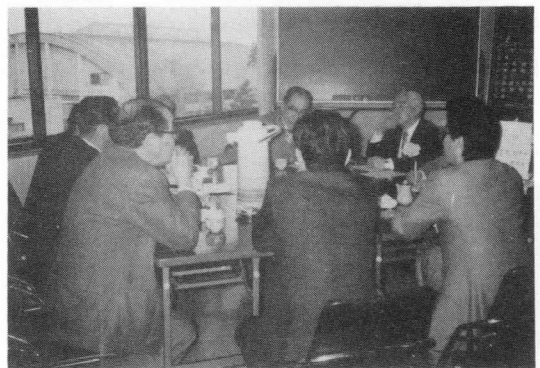
参加者 高田耕助・佐藤元伸・佐藤 忠・

小松広穂・上野三郎・小池繁治・

嶺岸光吉・三井 徹・佐々木尚伸(鶴岡西R.C.)の各氏

- 文化の発達と人間形成の問題では、家庭におけるしつけが大切で、親が中心になって考えなくてはならない。特に幼児期から体で覚えさせるなど、学校に入る前からしっかりとしつけを行うことが必要と思う。現代は物が豊富で、親は子供に物を与え過ぎ、放任すぎる。また、先生の中には、学校では学問のみを教え、しつけは家庭で行うべきだとする意見が多いと聞く。親の方は先生が学問としつけと両方やってほしいという考えが多いように思う。しかし、社会環境の変化があるとしても責任を転嫁するのではなく、しつけの問題は家庭と学校が連絡を密にし、責任をもって育てるという意識がぜひ必要である。
- 万引きの事例報告では、子供が悪い事をしたのに子供に謝らせないで親だけが菓子折を持って謝りに来る。悪い事をした子供自身にきちんとけじめをつけない親の過保護が問題。子供達が多勢出入りする大型商店では、先生も補導に入り、未然防止の指導に当るべきでないか。
- 統合化が進み大規模化された学校に問題が多いようだ。小規模校は先生と生徒の関係がうまくいっている。大規模校はどうしても目が行き届かないとか、欠陥があるように思う。この問題点を洗い

出し、解決への努力が必要である。中学生位までは親の影響よりも先生からの影響の方が大きいと思う。



### ★Bテーブル

発表者 小松三雄君

参加者 小松三雄・手塚 拓・迎田 稔・

飯白裕信・川村徳雄・染野 檀・

山口篤之助・高橋良士・板垣広志の各氏

- 子供の非行の原因の多くは親・家庭にある。またテレビなど社会的環境にも原因があるのでないか。
- 家庭でのしつけが大切である。世の中はわがままな行動は許されないことを5才位までの幼児期にしっかりとしつけることが家庭教育の基本である。昔は子供の頃のけんかで痛みを知った。やっていけないことも子供心に覚えた。兄弟も多く、現代とは手のかかり方が違う。忍耐力、自律心なども自然に養われたし、また宗教面でも先祖を敬う心を仏に手を合せる親の姿から教えられた。日本

庄内空港の建設を推進しましょう

人は倫理の問題が抜けている。子供には何の考えもなく物を与えすぎる。外国人は子供とは妥協しない、きびしくしつける。

- 社会の風潮では、子供がさわいでも親は知らんぶり、廻りの人も無関心である。親も廻りの人も注意することはきちんと注意する必要がある。また親子のつながりが大切、自分の子供のことをよく知っておくことが必要だ。子供と一緒にスポーツをやることもよい。スポーツをしている子供は、一般に非行には走らないようだ。子供達は横のつながりで遊ぶ、縦のつながりがなく、ガキ大将はいなくなったようだ。マスコミは殺人場面を大きく取り上げすぎる。深夜テレビの人命を軽んずるようなもの影があるのではなか。学校の成績が悪いからやる気を失って非行に走る。偏差値にも起因している。中学校の先生にはプロ意識に欠ける点があり、先生方もまとまりが悪い。もっと連帯して前向きに取り組むことを期待する。道徳教育は一部反対の声もあるが、人間の道という基本に立って必要だと思う。



### ★Cグループ

発表者 阿蘇司朗君

参加者 佐藤陸雄・阿蘇司朗・新徳光一郎・

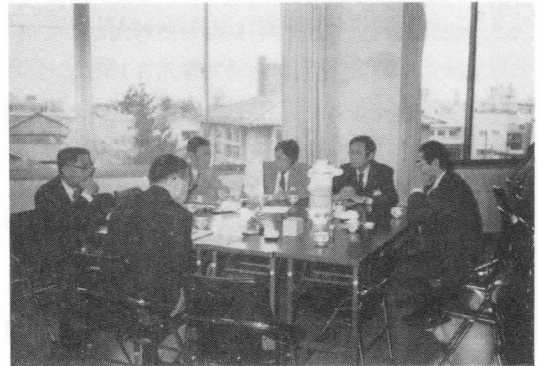
石井敬一・今野清一・石川寿男・

石塚敏彦・松田貞夫・若生恒吉の各氏

- 非行の実態はかなり低年化している。万引きにしても、必ずしも金品に恵まれない者ばかりでなく、自己を顕示したい、変ったことをやりたいという自分の不満や悩みを大人に訴える行動でもある。家庭や学校で早く発見し手を打つことが必要であろう。暴走族もその例で、エネルギーのはけ

口を見つけてやればよい。交通安全協会など中心になってサーキット、モトクロスなど場所を作ること考えてはどうか。

- 子供は干渉されたくないという反発心も強く持っていることを知っておかねばならない。悩みは友達に話す場合が一番多く、次で母親で、先生や父親というのは少ない。先生も尊敬されるよう努力してもらいたい。父親も関心不足ではないか。家庭にしろ学校にしろもっと子供に接触する環境をよくすることが必要である。家庭内のコミュニケーションが大切である。金品を与え放任していることに問題が発生しやすい。挨拶の仕方、善悪の区別、公平な扱いなど人間形成の基本は小さいうちからきびしくしつけることが必要で、特に3才位までが大事である。
- コマーシャルに一言「こんな事をやっていたらお父さんみたいになるよ……」これはやめてもらいたい。世の中のお父さん族もしっかりしないと問題は解決しないと思う。



### ★Dグループ

発表者 斎藤 隆君

参加者 中田敏和・斎藤 隆・三井 健・

黒谷正夫・森田清治・中村富昭・

中野清吾・富樫良吉・渡部利夫・

本山 弥の各氏

- 非行の根源は家庭にあるのではないかという意見が最初に出た。ではどういう家庭から非行に走る子供が出るのか考えてみると、愛情のない家庭に多いということ、また愛情があり過ぎる弱愛では決して許されるものではない。子供を立派に育てるには豊かな愛情としっかりしたしつけが必要で

ある。また父親の権威が薄れてきたことも原因の一つだという意見もあり、戦前の家庭は父親の鶴の一声ですべて決められていたが、戦後は特に母親が過保護になりやすく、子供のいいなりになる傾向がある。家庭は父親が権威をもって中心となっていく方がよいのでないか。

最近、少年の非行年齢が高校生から中学生・小学生と低年齢化してきている。先生に対する暴力や集団リンチなど毎日新聞紙上をにぎわしている状態である。昔から子供とけんかはつきものだが、現代の子供はけんかの仕方を知らない。突組合いのけんかもしたが、ルールみたいなものがあり、年少者や女の子はいじめない。みんなで一人をいじめない。石や棒などは使わない、げんこつだけのけんかであった。したがって、あまりしこりも残らず仲よしになることが出来た。現代の子供はテレビの影響もあって集団リンチや相手に大げがをさせるなど限度を知らない、エスカレートする傾向がある。「三つ児の魂百まで」のたとえのように、幼児期のしつけをしっかりとしておくことが子供を育てる基本と考える。



### ★Eグループ

発表者 工藤弘道君

参加者 秋野 忠・工藤弘道・板垣俊次・

加藤 寛・佐々木栄一・鈴木弥一郎・

丹下誠二郎・張 紹淵・諸橋政貞の各氏

- 学校教育については、国の教育方針に人の基本となる「心」の教育がない。6・3・3制に問題があるのではないか。義務教育は最少限にとどめ、勉強したい者だけが学校に行く方がよいと思う。一方、学校当局、先生が生徒（非行少年）に対し

真正面からぶつかっていない。先生と生徒の関係は友達付き合いだけでなく、はじめをつけて、非行を犯した者には厳しく真剣に取り組むべきである。

- 家庭教育について、しつけは、ものわりのよい親、家庭が多く、小さい頃からのしつけがなおざりにされている。感謝の心、他人への思いやりの心、お互い理解し合う心を育くむべきだ。物事に感動する心が足りない。無関心、しらせ人間にならないよう育てる。
- 社会の風潮として、物が豊富で便利な社会だが、反面自分の欲望が満たされない不満から、すぐ万引き、暴力など非行に走る。学歴社会が受験戦争へ子供達をかりたてている、ついていけない子供が多くいる。マスコミによる情報が無差別に子供達を直撃している。安易な欲望社会の風潮が子供達の背後にあることを認識しなくてはならない。
- 家庭・学校・社会の三者が一体となってこの問題に取り組んで行くことが、今もっとも必要なことではないか。このテーブルに現場の先生方を交えて意見交換を試みたらどうか提案したい。



### ★Fグループ

発表者 大森健司君

参加者 大森健司・三井賢二・手塚林治・

市川輝雄・早坂徳治・風間真一・

松田士郎・佐藤順治・鈴木善作の各氏

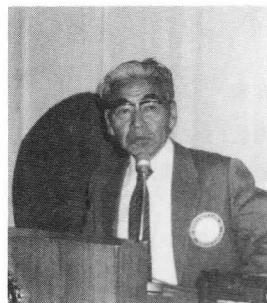
- 市の児童・生徒の問題行動の中で、一番多い万引きについての議論が中心になった。万引きの原因動機が遊び、好奇心、スリルで行っていて、罪の意識が薄い。そして非常に手口が巧妙になって、二人以上でグループ化した犯行で、他のグループ

と競っているようでもある。犯行の現場を見つけて注意してもなかなか犯行を認めず、ますます反抗的になる。親に通報しても弁償してもらうが、「うちの子は小遣い銭に困っていないはずである」とか、自分の子供の罪に対する連帯責任が薄い。学校教育でも昔のように「修身」課程がなく、また各家庭も核家族化が進んで、自分の先祖を敬う習慣が年々とぼしくなっている。親が一生懸命先祖に向かって拝んでいる姿をみれば、子供だって自分の家庭について自信を持って行動するはずである。学校教育についても、ただ有名校の合格者数を競うのではなく、精神面の教育に重点を置いて教育する。非行の第一歩は服装に表われるので、制服制帽の徹底とか、きちんとできる挨拶の励行等自分の学校についてプライドを持たせる教育を徹底すべきである。青少年の非行を防止するには、家庭と学校、そして地域社会が一体となって進めなくてはならない。万引きは犯罪であることをしっかりと教えることである。



## おま と め

青少年委員会委員長 津田晋介君



この企画は大変評判が良い。委員会メンバーのすぐれた企画力、実行力が成功に導いたものと思う。

報告を聞いて耳が痛かった。それは私が非行の経験者だからです。皆さんは品行方正な方々ですが、そうした立場から非行少年の問題を論じておられる。私は非行少年の立場

から聞きました。かなりピントのはずれた意見もありました。この問題を扱うなら非行少年の身になって考えなくてはならないと思う。

私は旧制中学ですから、当時校則を犯して勝手なことをしました。同級生は誰も品行方正だという者はいない。しかし旧中の5年間をかえりみて、良かったと思っている。品行方正に過した生徒には味わえない経験を重ねている。生徒の時代から経験を積んでいるから、品行方正に過した人の立場から批判しても通用しないと思う。

非行少年に対する親なり教師なりの立場はどうあるべきかを申し上げますと、一つのエピソードがあります。私の友人で福島県会津中学を4年で病気のため中退した人がいる。しかし2年後病気回復。旧制の浦和高校を受験したが落ちて予備校に入った。そこで浦和高校は成績は良くても浪人者は入学させないということを教えられた。一高受験を進められてパスした。結局浦和高校は2年浪人したという理由でパス出来なかったが、始めから浪人を入れないという発表をしていれば受験しないのに、だまって受験生を落すことは、当時赤の学生が問題になっていた。赤に走るのは浪人していた者が多い。したがって入学させない。理由を発表することが出来ないから落す。教育者はこれではいけないと思う。しかしこうした態度が今の先生方にないだらうか。非行少年をいやな存在だとして避ける態度がないだらうか。これが根本問題だと思います。非行少年も人間である。人間としての価値を認めてやるのが根本的心構えであろうと思う。同級会でも非行少年であった者の方が話題が豊富である。私は非行少年であったことを誇りに思っている。

私の軍隊での経験であるが、当時23才で伍長の私に対し、37才の上等兵は年長者で言うことをきかない。軍隊では階級一つの差は天地ほどの違いがあったが、敬礼もしてくれない。いわばつっぱり兵である。軍規からいえばとんでもないことで私も困った。しかし自分から接触する以外にないと考え、敬礼を自分の方からやったり、一緒に酒を飲むなどやっているうちに、次第に態度も改まり、何んでも言うことをよく聞くようになり、敬礼もするようになった。したがって、非行少年だからといって、これを敬遠せず、彼に接触するということが基本であろう。先

生もまた非行少年の存在があれば、やりがいがあるのではないだろうか。このように考えます。

## 感想

### 石黒慶之助ガバナー

青少年の問題について私の考えを月信11号に述べてありますが、本日の発表を拝聴して、私の考えと差がないように思いほっといたしました。『ロータリーの友』5月号に青少年問題について、カバー座談会の模様が載っております。私も出席しておりますので、ぜひ一読下さい。

## ライラ研修会について

### 鶴岡西R.C. 大川俊一君



石黒ガバナーから庄内地区でライラ研修会を実践したい。については鶴岡西R.C.がホストクラブを引き受けてほしいとの要請を受けて、57年から準備委員会を作り準備を進めてきた。

5月1日2日3日の3日間「いこいの村庄内」で開催する運びとなりました。プログラムはまだ出来ませんが、鶴岡R.C.からも多勢参加いただき花を添えていただくことになりました。研修生は現在90名の登録があります。昨年までの反省もあり、むずかしい話ばかりでなく、楽しくやろうと自由時間も設け、交流の場を計画しました。シンポジウムには元オリンピック選手の中村昌枝さんも参加することになっております。よろしく願います。

## 10周年記念式典の報告

### 鶴岡R.A.C.会長 清和由雅君

今日は例会の貴重な時間をいただき、4月23日から24日にかけて行なわれた鶴岡ローターアクトクラブの10周年記念式典の報告と協力をいただいたお礼を申し上げます。

23日出羽ホテルで行なわれたディナーをまじえた式典におきましては、大変おいそがしい時期にも

かかわらず、石黒ガバナーをはじめロータリアン、OB、ローターアクト総勢43名もの参加者を数えることができました。遠方は会津若松、米沢、山形からもロータリアン、ローターアクトの御出席をいただきましたが、何よりもまして親クラブであります鶴岡ロータークラブからは中江会長、佐藤幹事さんをはじめとして16名もの御出席をいただきました。このことに対しては現クラブ員一同非常にうれしく思っているところであります。

24日は、当初記念講演を計画いたしておりましたが、種々の都合でとりやめとし、遠方の方々にも鶴岡を知っていただくという意味を込めて、羽黒山を中心とする観光に変更いたしました。これとは別に鶴岡市の都合を伺った上で、しかるべき所への記念植樹も計画中でありますので、御通知の際にはぜひ出席をたまわりたいと思っております。また、記念誌も現在製作中であり、まもなく皆様のお手元へ発行できると思っておりますので、お読み下さるようお願いいたします。

今回の式典におきましては、クラブ員の経験不足もあり、何かと不手際がありました。先生方に対しましては失礼なこともあったと思われませんが、この経験を私どもは今後の活動の中にも生かしていくつもりでありますので、今後とも御指導・御協力をお願いいたします。

今日は、先の10周年記念式に対する御礼と報告まで申し上げ、これで終りたいと思っております。

## 会長報告

### 中江亮君

- 4月23日出羽ホテルに於て鶴岡R.A.C.の10周年記念式典が行われましたが、石黒ガバナーもお忙しい中を特にご出席されお祝いと激励をされました。
- 4月24日産業会館に於て、地区I.C.指導者講習会が開かれ、山形県区内7つのインターアクトクラブの会員及び顧問教師、その他ロータリアンが多数参加しました。回を経るにつれて、運営のしかたが上手になって、効果をあげてきたように感じます。石黒ガバナーの多彩なご講話と、地区I.C.委員の田宮長二さん、染野高専校校長先生のお話には会員は非常な興味を示していたようでした。
- 鹿兒島西R.C.の会員であられました故柴山さんの奥様から、ご丁寧なお礼状とお香料に対するお返

しのお茶が届いています。

- 「鶴岡・ニューブランズウィック友好協会」が発会されましたが、5月中旬に会員総会を控えて会員の募集をしておりますが、この設立に当っては市当局の要望で、当クラブが中心的役割を引き受けることになったので、出費ご多端の折とは存じますが、会員の皆さんからはぜひご入会をお願いいたします。いずれ山下さんからお願いしますがよろしく願います。(一口2,000円です)
- 仙台にご転勤になりました元会員の中江哲夫さんからお礼のハガキが届いていますので、回覧します。
- 次年度のR.I.会長のターゲットが正式に発表されました。

「みんなにロータリーを みんなに奉仕を」  
SHARE ROTARY SERVE ROTARY

## 幹事報告

佐藤元伸君

- 例会変更のお知らせ  
鶴岡西R.C. 5月6日(金)の例会をライラ研修会準備のため下記に変更  
日時 5月1日(日) 午前11時  
場所 いこいの村庄内
- 会報到着  
鹿児島西R.C. 東白川R.C.
- 朝日R.C.より創立10周年記念式典御案内  
日時 58年6月5日(日) 午後1時より  
場所 朝日町中央公民館  
登録料 10,000円
- ガバナー月信11号8ページ「クラブ便り」に鹿児島西R.C.の20周年記念式典に参加した記事が掲載してあります。ご覧下さい。

## 委員会報告

### 社会奉仕委員会

中村富昭君

- 4月24日(日)112号バイパスの赤川堤の清掃作業を行ないました。早朝7時から8時まで、会員および家族の方、朝陽町の町内会の皆様と一緒に総勢40名程で汗を流しました。トラック2台分のゴミには一同驚ろかされました。
- 庄内交通の協力で「ごみをすてない運動」の一言をバスの車内放送で、鶴岡R.C.として呼びかけを一年間実施することにいたしました。

### 出席委員会

佐藤順治君

6月9日は当クラブの創立記念日にあたる。月曜日であるが、当日か7日に例会を開く計画もあるので、この例会は100%の出席にしたいと企画している。これには会員各位の協力なしには実現しない。都合で欠席したら他のクラブにメイクするなど、目標達成にぜひご協力下さるよう、重ねてお願いします。

## ゲスト

石黒慶之助ガバナー  
清和由雅R.A.C.会長

## ビジター

- 立川R.C. 滝 禅 源 君
- 温海R.C. 佐藤 五右エ門 君  
阿 部 一 太 君
- 鶴岡西R.C. 加藤 有 倫 君  
安藤 修 平 君  
菅 原 年 雄 君  
大 川 俊 一 君

(今週の担当者 今野 清一)